



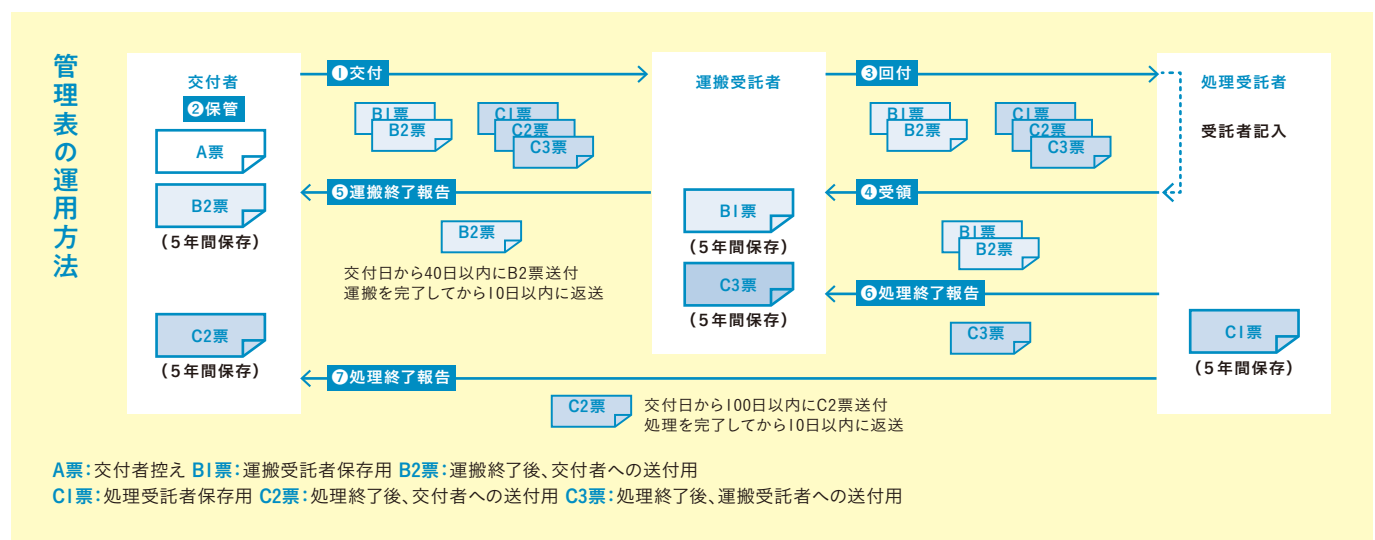
施工

STEP3で作成した浄化計画を基に、掘削除去、盛土、不溶化などの工法で浄化・対策工事を行います。
 施工に際して必要となる各種行政手続きや法令順守確認、管理票の運用、
 工事完了後の区域指定解除の届出まで一貫してサポートします。

汚染土壌運搬方法

実施例が多い掘削除去の場合、汚染土壌運搬車両である旨を掲示した車両に、シート等で拡散防止措置を施したうえで、
 現場搬出後30日以内に土壌汚染対策法上の許可施設への運搬を完了させます。その際の管理は管理表で行います。
 汚染土壌は搬出の14日前までに届出が必要で、次の4種類の処理施設で処理します。

- 浄化等処理施設 ●セメント製造施設 ●埋立処理施設 ●分別等処理施設



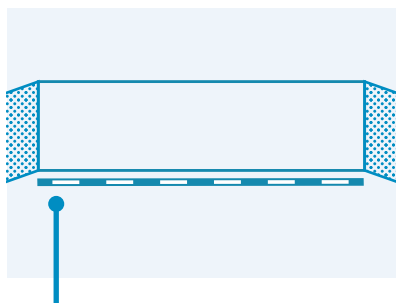
出来形確認写真の作成

出来形確認写真は、土壌汚染対策工事が適正に行われたことを示すものです。

重要な記録資料となるため、角度や範囲など留意点を守って撮影する必要があります。

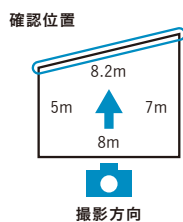
当社は出来形確認写真の作成についても、施工業務の一環としてサポートいたします。

水平方向

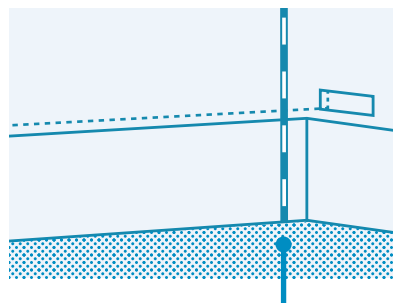


全景写真だけで、規定通りに掘削されていることが分かるような写真を添付してください。その際、人や法面等でリボンロッドが隠れないように気をつけてください。

工種	土壌汚染対策工
種別	出来形確認
区画	B2-5

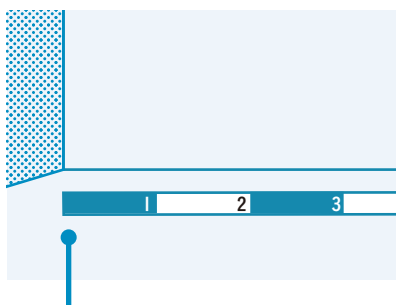
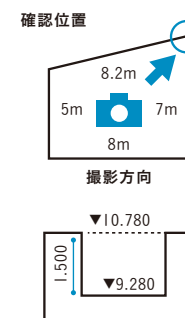


深度方向



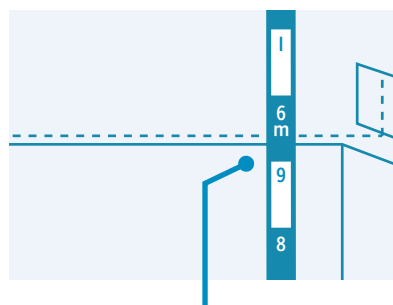
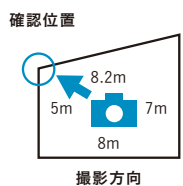
全景で目盛りが読める場合は、できるだけ全景写真としてください。

工種	土壌汚染対策工
種別	出来形確認
区画	B2-5



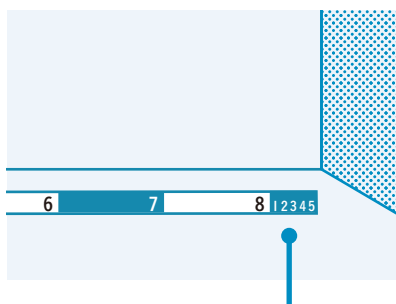
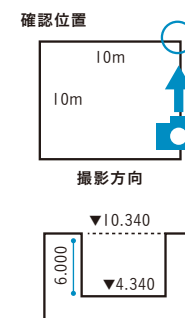
始点の部分を拡大した写真を添付してください。

工種	土壌汚染対策工
種別	出来形確認
区画	B2-5



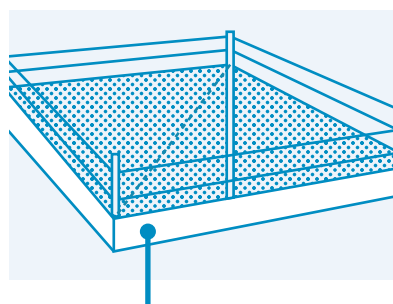
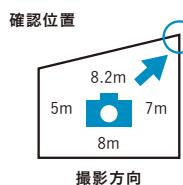
掘削深度が深い等で全景写真が写せない場合には、全体が分かる写真と近景写真の組み合わせで深さが分かるようにしてください。

工種	土壌汚染対策工
種別	出来形確認
区画	C3-2



終点の部分を拡大した写真を添付してください。

工種	土壌汚染対策工
種別	出来形確認
区画	B2-5



スタッフの目盛りや丁張り・水糸等の基準となる高さとの関係が分かるような写真としてください。

工種	土壌汚染対策工
種別	基準高盛替寸法確認
区画	10-p



※全景写真及び始点・終点の拡大写真を撮影してください。
写真撮影の角度等にも注意し、写真上で計画通りに掘削が行われたことを確認できるようにしてください。

※中層部分のみ掘削する場合は、対策範囲の上面及び底面のどちらの写真も残すようにしてください。
例) GL-1m: 適合、1m、2m: 不適合、3m以深: 適合で対策範囲がGL-1~3mの場合、
①汚染土壌上面のGL-1mの写真と②掘削完了後のGL-3mの写真を撮る